

宮島まちづくり基本構想（案）のパブリックコメントにおける意見と対応等

実施期間：令和2年1月17日（金）～2月17日（月）

公表場所：廿日市市宮島まちづくり企画室、行政情報資料室、各支所情報公開コーナー、宮島市民センター、宮島杉之浦市民センター、市ホームページ

意見提出：7件

番号	当該箇所及び項目	意見内容	対応、市の考え方
1	P18、61、70 （自然環境） P38 （観光客の増加による影響） P44、65 （交通） P90 （財源の確保） P92 （推進体制）	1. 一流の観光地を目指すのであれば、当面の阻害要因を排除するため次の項目について、禁止或いは自粛条例の制定を早急に行うことが必要である。 （1）島内外からの野良猫及びシカにエサを与えない。 （2）感染症の危険性のあるシカへの接触。 （3）食べ歩き。 （4）人力車。 （5）常設の屋台。 （6）焼きがき、焼き串等の店頭売り。 2. 来島者への最大のおもてなしとして、点在する花壇と防災、減災の観点から海岸通りの門扉の開放、植え込み、道路及び雁木の整備が必要と考える。	1. （1）餌やり禁止についての広報・啓発活動を強化して対応していきたいと考えます。 （2）人と野生動物である鹿の適切な距離が保たれ、直接的な接触がなくなるよう、対策を続けていきたいと考えます。 （3）～（6） 観光事業者、各種団体、住民、行政などが議論を重ねルールづくりを進めることが、一流の観光地へつながると考えます。 2. 海岸通りについては、歩行者等の安全性やバリアフリーといった観点から検討し整備促進したいと考えています。

		3. 財源確保の究極の選択肢は、J R 宮島航路の経営権を取得し市営の単独航路にすることである。これからも大幅増が見込まれる外国からの周遊券による乗船料金は著しく低く設定されている。年間 300 万人が利用した場合、正規の往復乗船料金 1 人 360 円で計算すると 10 億 8 千万円の収入額となる。高度な政治判断を望む。	3. 相手方からの申出があれば検討します。
2	P71 (自然)	1. 世界遺産センターについて、従来のただ見せるだけの展示にならないようにしてほしい。VR 等を利用し、宮島の歴史的価値が子供たちにもわかるようにしてほしい。	1. 御意見のとおり AR・VR を活用した体験型の解説をイメージしています。年齢を問わず、楽しみながら学べるものになるよう考えていきます。
		2. ロープウェイについて、到着地での滞在を長くする施設等の整備を進めるべきである。	2. 宮島の持つ様々な魅力を引き出すことで、島内での滞在時間を長くするよう、仕組みづくりや整備を検討して行きます。
3	P24 (文化)	「とんど」「地蔵祭」「氏神祭」「雛めぐり」「節分」など、島民の生活に密着した行事は紹介した方がよい。せっかくなら、ガイドブックにないものを載せていただきたい。新しい移住者に伝えたい意味も含め、いろいろな風習も幼稚園や宮島学園で子供を通して学ぶ親も多い。この構想もその一つになってもらいたい。	追加記載します。
4	P74 (観光)	1. 人が来ればゴミが出るのは当然であり、ゴミ箱の整備が必要。	1. 設置主体、場所、回収方法など検討と協議を進めていきたいと考えます。
	P77 (生活・教育)	2. 若い人が定住できるように住宅の整備が必要。(住居の確保)	2. まずは、空き家などストックの活用から考えていきます。
	P79 (交通)	3. J R 列車の最終便に連結するフェリー運航の拡充をお願いする。	3. 手法も含めて検討したいと考えます。

5	<p>P72（文化歴史） 歴史的町並みの保存再生</p> <p>P74（産業振興） 持続可能で魅力ある観光メニューの開発</p> <p>P82（福祉） 福祉制度の充実</p> <p>P83（交流） 交流施設整備</p>	<p>伝統的な町並みに溶け込む外観で、島内島外の人がゆっくり交流できる共同浴場の新設。（可能ならば、古典的な蒸し風呂施設も設置する）</p> <p>現在、宮島島内に在勤するものとして感じているのが、島に住む人や滞在される方へ潤いや娯楽をもたらす夜間の施設の貧弱さ。一部オープンしている居酒屋、カフェは賑わうが商店街は、飲食店さえ夕刻にはほぼ閉店してまるでゴーストタウン。コンビニもない。ならば登別温泉の「夢元さぎり湯」北陸の諸々の温泉場にある「総湯」、道後温泉の「椿の湯」のような共同浴場を設け、さらに売店、休憩所、卓球などを併設して、健康増進、地域交流の場としたい。</p> <p>ハードルは高いかもしれないが、将来的には島内各宿泊施設の湯めぐり企画も提案したい。</p>	<p>宮島の魅力を引き出す可能性として検討したいと考えます。</p> <p>ただし、行政主導の実施よりも、宮島旅館組合をはじめ、島内の事業者の連携と取組が、夜の賑わいや交流の場の創出への近道と考えます。</p> <p>なお、夜の静寂も宮島の魅力の一つであり賑わいとバランスが大切と考えます。</p>
6	P15(宮島の特性)	平成9年に過疎地域に指定されていることの記載が無い。	追加記載します。
7	P93（推進体制）	「島づくり組織」と「推進協議組織」の役割が分からない。	「推進協議組織」を「連絡会議」に改め、それぞれの役割が明確になるよう記載を追加します。